

文化財団の補正予算を否決

昨年8月議会に提出された、地方創生推進交付金活用事業（アートからはじめる歴史と文化を活かしたまちづくり事業）は、3年間で1億4千万円の事業で国から7千万円、市が7千万円を負担する、文化伝統を瀬戸内市のまちづくりに活かすという事業です。

この予算については、当初8月議会に予算が出された時に、『説明が不十分である』『文化財団の位置づけが不透明である』『もっと地域の文化伝統を大事にすべきだ』などの理由で、否決しました。

しかし、10月に臨時議会が開催され、さほどの計画変更もなされないまま今度は可決しました。（私は、何も変わっていないということで、反対しましたが）

その事業の一環である、文化財団について今議会に予算が提出されました。昨年の計画では文化財団の出資金もこの地方創生事業に含まれていましたが、出資金は交付金が使えないということで、今回は文化財団の出損金として、まちづくり振興基金から1,500万円の予算が計上されました。それ以外に文化財団への補助金250万円も計上されました。今回も、『説明が不十分である』『まだ定款すらない』『事業計画が見えない』『コロナ禍の今、することは別にある』などの理由で、否決しました。

くさかとしこの主張

大きな市費を投じるには、事業計画も構成団体すらはっきりしない、とにかく文化財団というものが作りたいというだけの内容でした。一度財団を作ったら、簡単にはやめるわけにはいかない、市費を投入し続けなければいけません。自立運営という言葉だけが心地よく漂っていますが、その根拠も計画も見受けられません。

私は、文化財団の設立自体に反対ではありません！

文化伝統を大事にするまちとして、素晴らしいことだと思います。

しかし、市費を使うからには、相当の覚悟をもってしっかりしすぎるぐらいの計画の下で、始めなければいけないことだと思っています。

今後もしっかり、チェックしていきます。

令和2年第7回(11月)定例会 賛否の公表

○=賛成 ●=反対 欠=欠席 —=議長職(議長は採決に加わりません)

議案名	議決年月日	採決結果	改革											賛成	反対									
			日本共産党瀬戸内市議団	厚東 晃央	島津 幸枝	小谷 和志	石原 芳高	日下 敏久	廣田 均	公明党瀬戸内市議団	河本 裕志	高間 直美	角口 圭一			布野 浩子	小野田 光	原野 健一	平原 順二	竹原 幹	日下 俊子	岡 國太郎	室崎 陸海	
議案第85号 令和2年度瀬戸内市一般会計補正予算(第9号)に対する修正案について	R2.12.17	可決	○	○	●	○	—	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9	7
議案第85号 令和2年度瀬戸内市一般会計補正予算(第9号)の修正案を除く原案について	R2.12.17	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	0



皆さまには本当にいつも、温かく見守っていただき、そして励ましていただき本当にありがとうございます。

今年は丑年です。牛は古くから酪農や農業で人間を助けてくれた大切な動物でした。大変な農作業を最後まで手伝ってくれる働きぶりから、丑年は「我慢(耐える)」、「これから発展する前触れ(芽が出る)」というような年になるといわれています。去年は閉塞感に包まれた一年でしたが、今年是一日も早く元の生活に戻れる年になりますよう、お祈り申し上げます。

私は今まで通り、【とっしん】で、頑張っていきたいと思います。今年もよろしくお願い致します。

私はいつも、皆さまの声を市政に届けていきたい、その思いでいます。その思いは、今もこれからも変わることはありません。

これから、ますます寒くなってまいります。皆さまにはどうかご自愛ください。

今回の一般質問

- (1) 宮下第2工業団地について
 - (2) 庁舎再編計画について
- を取り上げさせていただきました。

2020年 山陽新聞 東備版に12月2日 掲載されました。

(1) 宮下第2工業団地について

南北道長船出口に第2宮下産業団地が計画されています。現在でも南北道長船出口は、何百人もの小中学生の通学路にも関わらず、信号もなく危険な場所です。私も長船中学校の登校ボランティアとして毎週水曜日にこの場所に立っていますが、ヒヤッとすることがあります。この場所にこれ以上通行量が増えることは、看過できません。

くさかとしこの主張

南北道は、国道2号線やブルーラインにつながってこそ、意味があると考えています。産業団地を整備するのであれば、この危険な通学路を解消するためにも、道路を整備して国道2号線につなげるべきと考えます。



市は2月以降、福祉部とこども健康部をゆめトピア長船敷地内に整備する新館に置くか、本庁西庁舎に移転させるかを検討してきた。この日の日下俊子氏の質問に財務部長は、「きめ細やかなサービスにつなげるためにも西庁舎改修案を採用した」と説明した。計画では、現在車庫として使っている本庁西庁舎の1階部分約600平方メートルを改築し、福祉部とこども健康部が入る事務所と相談室、授乳室などを設ける。

令和3年1月20日発行
発行責任者 瀬戸内市議会議員

くさか としこ

〒701-4273
瀬戸内市長船町磯上 569
TEL/FAX 0869-26-6420
携帯 TEL 090-5702-8336
ホームページ
<http://www.kusaka-toshiko.jp/>



こんな時でも
美しい磯上平野の朝日♡
こんな時だからこそ、変わらないものを大切にしながら、
頑張らましょ!!

新型コロナウイルス感染症への対応は、私たちがこれまでの人生で培ってきた知識、経験、対処法では太刀打ちできないくらいすさまじいダメージを今私たちに与えています。

しかし、今私たちにできることは、心身の健康を保ち、この局面を乗り越えていくために、自分たちの出来ることを最大限やることしかありません。着実に頑張っていきましょう。

今回も私の拙い行政報告にお付き合いいただきまして、ありがとうございます。

もっともっと勉強して頑張りますので、ぜひ皆様の感想等、何かの折に声をかけてやってください。よろしくお願い致します。

【くさかとしこ】の一般質問を通して

(2) 庁舎再編計画について

庁舎再編計画に伴うこれまでの経緯

- H30.3 瀬戸内市庁舎再編計画がだされ、耐震のない長船町公民館・長船支所・長船消防署について、消防署 → 長船商工会議所へ移転新築
公民館・支所 → ゆめトピア内に移転し、**保健福祉部仮庁舎を新築**という計画が出されました。
- H30.7.17 長船町公民館の福里への存続を求める 1,175 名もの署名要望書が、福里に公民館を守る会より提出。
- H30.8.9 長船地区対象に、庁舎再編計画基本構想説明会が開催されました。その中で、『**市の方針としては決定事項**』でございます。基本的な流れについて、今後、ゆめトピアの中に公民館と支所を移転すること、保健福祉部の仮庁舎をつくること、それから、分駐所を新設することについては決定事項でございます。今後変わる予定はございません。』という説明でした。
- R2.1.8 議会に、保健福祉部仮庁舎を再検討して、邑久の本庁へ統合する保健福祉部統合案が提出されました。
- R2.11 保健福祉部統合案のために、本庁市役所前 JA 土地を 4 億円 (坪 30 万) で購入する案が提出されました。そして、その JA 土地に 20 年後に 73 億円の統合庁舎を新築することが決定と報告がありました。
- R2.11.20 住民に対して、庁舎再編計画説明会が開催されました。

この経緯をみてもわかるように、H30.8 の説明会の決定が二年で反故にされ、この長船からは保健福祉部さえなくなってしまう計画であることがわかりました。
邑久郡の合併協議会の記録に、牛窓支所に教育委員会、長船支所に保健福祉部を置く分庁方式を採用したとあるように、長船に保健福祉部を置くことは、合併の約束だったはずで

市民に、H30.8 に説明した内容と全く変わったのだから、市民に説明すべきだということで、今回の住民説明会が開催されました。

庁舎再編計画に伴うこれまでの予算

H29 年	瀬戸内市庁舎再編計画基本構想策定業務に	594 万円
H30 年	長船支所および周辺施設整備基本計画および基本設計策定業務に	1,209 万円
H30 年	地質調査業務に	508 万円
H31 年	保健福祉部仮庁舎新築実施設計業務に	1,077 万円
R2 年	ゆめトピア長船保健福祉部仮庁舎案と本庁保健福祉部統合案の検討予算に	560 万円

庁舎再編計画に伴う今後の予算計画

邑久の本庁に保健福祉部を入れるための改修	2.9 億円
長船支所をゆめトピアに新築する予算	2.1 億円
JA 跡地取得	4 億円
JA 解体・補償	0.9 億円
ゆめトピア長船改修工事	未定
長船町公民館附属棟新設工事	1.3 億円
長船分駐所新築工事	2.5 億円
長船支所解体工事	0.2 億円
長船町公民館解体工事	0.5 億円
長船分駐所解体工事	600 万円

今回の説明会は、行政委員以外の方の出席は、事前に氏名・住所・電話番号を申請することを求められました。
案内は、行政委員に郵送されただけで、広報への案内もなければ、ホームページへの掲載もありませんでした。
そのうえ、先着順で 100 名までの人数制限もありました。町内会長に案内が届いたのは、説明会開催 2 週間前です。コロナ禍で仕方がないかもしれませんが、このやり方で本当に住民に丁寧な説明ができたのかどうか、不安になります。

【くさかとしこ】の一般質問を通して

くさかとしこの主張：

国府地区の住民は 2 年前、ゆめトピア長船に仮庁舎を建設するから長船町公民館を潰させて欲しいと言われ、決定事項だからと、泣く泣く納得しました。

それが今年になり、計画は変わり仮庁舎は中止になり、福祉部までゆめトピア長船から本庁へ移転すると言われても、納得できるはずがありません。

説明責任は果たせたと考えているのかという質問に、財務部長は、「福祉部がなくなる不安だとか、ほかの地域との格差という声は聞いたが、本当に少数の、5,6 人の意見だった。今後はこれ以上の説明会等はせず、議会の中で審議をしてもらおう。」と返答しました。あの説明会では、5,6 人の意見しか言わせてもらえず、全員が納得できないというものだったのに、もかかわらず、少数の意見だったので今後は議会に決めてもらおうと、人の責任にするやり方は、決して許すことはできません。

私は公民館のことについては、本当にずっとずっと質問し続けてきました。今議会を含めおそろしいことに 13 回も公民館・図書館・庁舎再編について質問してきました。
最初は、中央に立派な図書館ができるのはいいが、子どもたちが自転車でいける、お年寄りが気軽に立ち寄れる地域の図書室も充実して欲しいと言いつつ、平成 28 年に今のかたちに拡張してもらうことができました。
それ以降は、長船町公民館の移転についてずっと反対してきました。

くさかとしこの主張：

下の利用一覧は、長船町公民館・ゆめトピア長船のどちらもが、活発に使われていることがよくわかる数字です。

1 ヶ月は月曜定休で 26 日ほどしかないことになります。どうやったら、この両者が両方が不便なく使えたりできるのでしょうか。私にはそんな魔法のようなことはできません。

その中で行政は、ゆめトピア長船に公民館が統合されても市民の集いと憩いと教育の場である公民館は優先使用だと言われました。

一方で福祉施設としてのゆめトピア長船の健康スタジオで行われるイベントは、やはりこれも優先されるべきではないでしょうか。

そして、市の成人式・慰霊祭・あらゆるフェスタ等もこれまた優先使用されるべきではないでしょうか。

こうなると、どんなに考えても、みんなが不便なく統合利用できるなんてことは、絶対に無理ではないでしょうか？ 今後も最後まで戦い続けます。

長船町公民館とゆめトピア長船の部屋別月平均利用一覧

長船町公民館		ゆめトピア長船			
部屋別	月平均使用回数	部屋別	月平均使用回数	保健福祉部利用	市行政利用
大ホール	33件	大ホール	9件	73件	12件
小会議室	28件	小ホール	16件		
講義室	22件	健康スタジオ	17件		
		研修室1	20件		
		研修室2	21件		
ボランティアルーム	31件	ボランティアルーム	14件		
調理	3件	キッチン	10件		
和室	11件	和室1	7件		
		和室2	7件		
ミーティング	1件	元気発見1	15件		
		元気発見2	9件		
		たんぽぽ	13件		
ビリヤード室	11件				
カラオケ	2件				
陶芸	5件				
石鹸	1件				
卓球	69人				